

令和5年度 第1学年

Let's Be Friends!		教科書ページ	p.6-19
		配当時間	7時間
		学習時期	4月
教材	目標	△言語材料 ▲言語の使用場面・働き▲言語の使用場面・働き	
①言葉で人とつながろう	お互いの気持ちをたずね合ったり、会話を聞いて場面を考えたりすることができる。	△気持ちや状態を表す言葉 ▲相づちを打つ／お礼を言う／聞き返す	
②好きなものでつながろう	好きな色について聞き取ったり、話したり書いたりすることができる。	△色を表す言葉 ▲質問する What color do you like?	
③行きたい国を伝え合おう	行きたい国について聞き取ったり、話したり書いたりすることができる。	△国名 ▲質問する Where do you want to go?	
④数字を聞いて動物を探し出そう	数を表す言葉を読んだり聞いたり言ったりすることができる。	△数を表す言葉	
⑤誕生日をたずね合おう	誕生日について聞き取ったり、話したり書いたりすることができる。	△日付を表す言葉／月を表す言葉 ▲質問する When is your birthday?	
⑥アルファベットを聞いて書こう	アルファベットの大文字と小文字を聞いて書き取ることができる。	△アルファベットの大文字・小文字	
⑦英語の音とつづりを確かめよう	音とつづりの関係を考えて、基本的な単語を聞き取ったり言ったりすることができる。	△基本的な単語	

	評価規準	評価規準				
		L	R	SI	SP	W
知識・技能	アルファベット、数の言い方、色や国名などの基本的な単語を理解している。					
	アルファベットや数や基本的な単語を聞き取ったり、小学校で学習した表現を使った会話から内容を理解したりすることができる。	○				
	数を表す言葉や基本的な単語を声に出して読むことができる。		○			
	数や基本的な単語を言ったり、小学校で学習した表現を使って友達とやり取りしたりすることができる。			○		
	アルファベットを書いたり、小学校で学習した表現を使って自分のことを書いたりすることができる。					○
思考・判断・表現	同じ色が好きな友達を探すなどの目的のために、適切な表現を使って友達とやり取りをしている。			●		
	英語の音と文字の関係について考えている。		●			
主体的に学習に取り組む態度	積極的に話題を選んで会話をしようとしている。			■		
	積極的に英語らしい発音をしようとしている。		■			

時	ページ	主な活動内容	観点別評価 (方法)
1	p.6-7	<p>コミュニケーションで大切なことを確認し、ペアで気持ちをたずね合ったり、会話を聞いて場面を考えたりする。</p> <p>◆コミュニケーションの4つの「たいせつ」を確認する。</p> <p>◆ペアになり、自分の名前を伝え、お互いの気持ちや状態をたずね合う。</p> <p>◆会話を聞いて、ふさわしい場面の絵を選ぶ。</p> <p>◆相づちやお礼を言う言い方、聞き返す言い方を確認する。</p> <p>◆音声聞いて、同じ会話をペアで演じてみる。</p>	<p>○気持ちや状態を表す言葉を使って、友達とやり取りすることができる。</p> <p>○会話を聞いて、ふさわしい場面の絵を選ぶことができる。</p> <p style="text-align: right;">(観察)</p>

時	ページ	主な活動内容	観点別評価 (方法)
2	p.8-9	好きな色を聞き取ったり、友達と好きな色をたずね合ったり、自分の好きな色を書いたりする。 ◆色を表す言葉を確認する。 ◆聞こえた色を指でさす。 ◆会話を聞いて、人物が好きな色を聞き取る。 ◆友達と好きな色をたずね合い、自分と同じ色が好きな友達を3人見つける。 ◆自分の好きな色を文に書く。	○会話から人物が好きな色を聞き取ることができる。 ●自分と同じ色が好きな友達を見つけるために、友達と好きな色をたずね合っている。 ○自分が好きな色を書くことができる。 ■積極的に会話をしている。 (観察)
3	p.10-11	行きたい国を聞き取ったり、友達と行きたい国をたずね合ったり、自分が行きたい国を書いたりする。 ◆国名を確認する。 ◆会話を聞いて、人物が行きたい国を聞き取る。 ◆ヒントを聞いて、あてはまる国を指でさす。 ◆ペアになって友達と行きたい国や行きたい理由をたずね合う。 ◆自分が行きたい国を文に書く。	○会話から人物が行きたい国を聞き取ることができる。 ●お互いを知るために、友達と行きたい国をたずね合っている。 ○自分が行きたい国を書くことができる。 (観察)
4	p.12-13	数を表す言葉を読んだり、聞いたり、ゲームやクイズをしながら数を言ったりする。 ◆音声に続いて1~100の数を表す言葉を読む。 ◆聞こえた数字を線で結び、どんな動物が出てくるか確かめる。 ◆グループで「31はアウト」のゲームをする。 ◆数式の空欄に合う数を答える。 ◆聞こえた教科書のページを開いて、見つけたものを言う。	○数を表す言葉を声に出して読むことができる。 ■英語らしい発音をしようとしている。 ○数を聞き取ることができる。 ○数を言ってゲームやクイズをすることができる。 (観察)
5	p.14-15	誕生日を聞き取ったり、友達と誕生日をたずね合ったり、自分の誕生日を書いたりする。 ◆日付を表す言葉と月を表す言葉を確認する。 ◆会話を聞いて、人物の誕生日を聞き取る。 ◆聞こえた日付を指でさす。 ◆友達と誕生日をたずね合い、誕生日が早い順に列を作る。 ◆自分の誕生日を文に書く。	○会話から人物の誕生日を聞き取ることができる。 ●誕生日が早い順に列を作るために、友達と誕生日をたずね合っている。 ○自分の誕生日を書くことができる。 (観察)
6	p.16-17	アルファベットの大文字を聞いて書き取ったり、小文字を聞いて書き取ったりする。 ◆アルファベットの読み方を聞いて大文字を書き、2種類の読み方に共通する音を考える。 ◆パラリンピックの開催都市の都市コードを聞いて、3文字のアルファベットの大文字を書き、その都市名を選ぶ。 ◆メールアドレスを聞き取り、アルファベットの小文字と数字で書く。 ◆ペアになり、自分が考えたメールアドレスを伝え合い、それを書き取る。	○アルファベットの大文字を聞いて書き取ることができる。 ○アルファベットの小文字を聞いて書き取ることができる。 (観察)
7	p.18-19	音とつづりの関係を考えて、基本的な単語を聞き取ったり言ったりする。 ◆英語を聞いて、単語が表すものを絵の中から探して指さす。 ◆英語を聞いて、単語を声に出して読む。 ◆教科書にあるジングルを唱える。 ◆先生が示すアルファベットの音で始まる単語を言う。 ◆英語を聞いて、単語の初めの文字を書く。	○基本的な単語を聞き取ることができる。 ○基本的な単語を声に出して読むことができる。 ■英語らしい発音をしようとしている。 ○基本的な単語を言うことができる。 ●英語の音と文字の関係について考えている。 (観察)

Unit 1	Here We Go!	題材	出会い
		教科書ページ	p.28-36
単元目標	・会話から、その人の情報を聞き取ることができる。 ・自己紹介カードに、自分の情報を書くことができる。	配当時間	8時間
		学習時期	4月～5月
言語材料	基本文 Part 1 I'm Eri. I'm a student there. I'm from Japan. Part 2 I like spring. I don't like spring. Part 3 I can play the drums. I can't play the drums. 語句 here, year, old, rice ball, fall, festival, summer, place, can, play, trumpet, spring, winter, am, lost, student, there, meet, call, Ms., Japan, Canada, from, look, beautiful, not, about, so, much, in, classroom, hello, New York, and, swim, drum, cannot, but, piano, cool, flute, basketball, dance, well, run, fast, baseball, movie, book, musician 連語 ~ year(s) old, Thanks. Call me ~. I'm from ~. How about ~? not ~ so much 表現 Here we go! Nice to meet you. Why not? Cool.		
言語の使用場面／働き	使用場面 (ア) 学校での学習や活動 (イ) 自己紹介 働き (ア) 相づちを打つ (イ) 礼を言う (ウ) 発表する		

	評価規準	L	R	SI	SP	W
知識・技能	I'm ~. I (don't) like ~. I can / can't ~. の構文について正確に理解している。	○	○	○		○
	I'm ~. I (don't) like ~. I can / can't ~. を使った話から出身地、年齢、好きなものや好きでないもの、できることやできないことを正確に聞き取ることができる。	○				
	I'm ~. I (don't) like ~. I can / can't ~. を使った英文を読んで、内容を正しく理解したり、教師の音読にしたがって読むことができる。		○			
	I'm ~. I (don't) like ~. I can / can't ~. を使って、自分の出身地、年齢、好きなものや好きでないもの、できることやできないことを正確に伝え合うことができる。			○		
	I'm ~. I like ~. I can ~. を使って、自分の名前、好きなもの、できることを正確に書くことができる。					○
思考・判断・表現	登場人物の自己紹介カードを完成させるために、その人物が自己紹介カードを作っている場面の会話から、必要な情報を聞き取り、適切に理解している。	●				
	自分のことを友達に知ってもらうために、自己紹介カードに名前や好きなもの、できること、その他の情報を適切に書いている。					●
主体的に学習に取り組む態度	登場人物の自己紹介カードを完成させるために、その人物が自己紹介カードを作っている場面の会話から、必要な情報を聞き取ろうとしている。	■				
	自分のことを友達に知ってもらうために、自己紹介カードに自分についての情報を積極的に書こうとしている。					■

時	ページ	主な活動内容	観点別評価 (方法)
1	p.28-29	ストーリーの話題を予測し、おおまかな内容をつかむ。 ◇Sounds and Letters ◆絵や写真からストーリーの話題を予測する。 ◆ストーリーを通して聞いて、おおまかな内容をつかむ。	
2	p.30	本文の内容を捉え、文脈の中で新出文法事項の意味・形・使い方理解する。 ◇Sounds and Letters ◆p.30の本文を読んで、内容を理解する。	○p.30の本文を読んで内容を理解したり、教師の音読にしたがって読むことができる。

	◆I'm ~.の意味と形と使い方を理解する。 ◆p.30の本文を教師の音読にしたがって読む。	(観察・ワークシート)
--	---	-------------

時	ページ	主な活動内容	観点別評価(方法)
3	p.31	I'm ~.を使った文を聞いたり, I'm ~.を使って話したり書いたりする。 ◇Sounds and Letters ◆Listen 登場人物の自己紹介を聞いて, 情報を捉える。 ◆Speak ペアになり, 例にならって自己紹介をし合う。 ◆Write 自分の名前を伝える文を書く。	○I'm ~.を使った自己紹介から, 出身地と年齢を聞き取ることができる。 ○I'm ~.を使って自分の出身地や年齢を伝え合うことができる。 ○I'm ~.を使って自分の名前を書くことができる。(観察・ワークシート)
4	p.32	本文の内容を捉え, 文脈の中で新出文法事項の意味・形・使い方を理解する。 ◇Sounds and Letters ◆p.32の本文を読んで, 内容を理解する。 ◆I (don't) like ~.の意味と形と使い方を理解する。 ◆p.32の本文を教師の音読にしたがって読む。	○p.32の本文を読んで内容を理解したり, 教師の音読にしたがって読むことができる。(観察・ワークシート)
5	p.33	I (don't) like ~.を使った話を聞いたり, I (don't) like ~.を使って話したり書いたりする。 ◇Sounds and Letters ◆Listen 登場人物の好きなものと好きでないものを聞き取る。 ◆Active Words 果物・野菜を表す語彙を確認する。 ◆Speak ペアになり, 例にならって好きなものを伝え合う。 ◆Write 自分が好きなものを伝える文を書く。	○I (don't) like ~.を使った話から, 好きなものや好きでないものを聞き取ることができる。 ○I (don't) like ~.を使って, 好きなものや好きでないものを伝え合うことができる。 ○I like ~.を使って自分が好きなものを書くことができる。(観察・ワークシート)
6	p.34	本文の内容を捉え, 文脈の中で新出文法事項の意味・形・使い方を理解する。 ◇Sounds and Letters ◆p.34の本文を読んで, 内容を理解する。 ◆I can [can't] ~.の意味と形と使い方を理解する。 ◆p.34の本文を教師の音読にしたがって読む。	○p.34の本文を読んで内容を理解したり, 教師の音読にしたがって読むことができる。(観察・ワークシート)
7	p.35	I can [can't] ~.を使った話を聞いたり, I can [can't] ~.を使って話したり書いたりする。 ◇Sounds and Letters ◆Listen 登場人物のできることとできないことを聞き取る。 ◆Speak ペアになり, 例にならって自分ができないこととできることを伝え合う。 ◆Write 自分ができることを伝える文を書く。	○I can [can't] ~.を使った話から, できることやできないことを聞き取ることができる。 ○I can [can't] ~.を使ってできることやできないことを伝え合うことができる。 ○I can ~.を使って自分ができることを書くことができる。(観察・ワークシート)
8	p.36	Goal 自己紹介カードを作ろう 会話から登場人物の情報を聞き取ったり, 自己紹介カードに自分の情報を書いたりする。 ◆Listen 登場人物が自己紹介カードを作っている場面の会話を聞いて, その人物の情報を聞き取る。 ◆Write 自己紹介カードに名前や好きなものやできることを書く。そのほかの情報も書くようにする。 ◆活動を振り返って自己評価をする。	●登場人物の会話から, 必要な情報を聞き取り, 適切に理解している。 ■登場人物の会話から, 必要な情報を聞き取るようとしている。 ●自己紹介カードに名前や好きなこと, できること, その他の情報を適切に書いている。 ■自己紹介カードに自分についての情報を積極的に書こうとしている。 (ワークシート)

Daily Life 1	国際郵便	題材	国際郵便
		教科書ページ	p.37
教材の目標	・海外宛ての送り状に、宛名や住所を書くことができる。	配当時間	1時間
		学習時期	5月
言語材料	ローマ字		

		評価規準				
		L	R	SI	SP	W
知識・技能	海外宛ての送り状の宛名や住所の書き方を正確に理解している。					○
	海外宛ての送り状に、宛名や住所、自分の名前などを正確に書くことができる。					○

時	ページ	主な活動内容	観点別評価（方法）
1	p.37	<p>海外宛ての送り状に、宛名や住所を書く。</p> <p>◇Sounds and Letters</p> <p>◆教科書のモデルを見て、依頼主の名前と住所の書き方を理解する。</p> <p>◆書式に合わせて、依頼主（自分）の名前と住所を書く。</p> <p>◆書式に合わせて、例示された届け先の名前と住所を書く。</p> <p>◆ペアで交換して、正しく書けているかどうか確認する。</p>	<p>○海外宛ての送り状に、宛名や住所、自分の名前などを書くことができる。</p> <p>(ワークシート)</p>

Unit 2	Club Activities	題材	部活動
		教科書ページ	p.38-46
単元目標	・会話から、好みや得意なことなどを聞き取ることができる。 ・好きなことや得意なことなどについて、たずね合うことができる。	配当時間	8時間
		学習時期	5月～6月
言語材料	基本文 Part 1 You are a new student. Are you a new student? —Yes, I am. / No, I'm not. Part 2 Do you play an instrument? —Yes, I do. / No, I don't. Part 3 Can you read it? —Yes, I can. / No, I can't. 語句 club, activity, art, team, brass band, drama, science, table tennis, Mr., new, yes, come, no, an, athlete, instrument, little, usually, practice, on, Monday, running, this, read, it, oh, tongue twister, say, repeat, after, write, make, Wednesday, Friday, always, sometimes, never, Tuesday, Thursday, Saturday, Sunday, eat, watermelon, draw, cow, drink, coffee, ride, unicycle, library, interested, outdoor, artist, track 連語 come in a little be interested in ~ 表現 Here's ~. Repeat after me.		
言語の使用場面／働き	使用場面 (ア) 学校での学習や活動 働き (ア) 話し掛ける (イ) 礼を言う (ウ) 説明する (オ) 質問する		

	評価規準	L	R	SI	SP	W
		知識・技能	Are you ~? Do you ~? Can you. ~? の構文について正確に理解している。	○	○	○
	Are you ~? Do you ~? Can you ~? を使った会話から、相手の情報、部活動の様子、できることやできないことを正確に聞き取ることができる。	○				
	Are you ~? Do you ~? Can you ~? を使った英文を読んで、内容を正しく理解したり、教師の音読にしたがって読むことができる。		○			
	Are you ~? Do you ~? Can you ~? を使って、好きなことやできることなどを正確にたずね合うことができる。			○		
	Are you ~? Do you ~? Can you ~? を使って、好きなことやできることなどをたずねる文を正確に書くことができる。					○
思考・判断・表現	登場人物に合う部活動を知るために、会話からその人物の好みや得意なことなどを聞き取り、適切に理解している。	●				
	相手に合う部活動を診断するために、疑問文を適切に使って好きなことや得意なことをたずね合っている。			●		
主体的に学習に取り組む態度	登場人物に合う部活動を知るために、会話からその人物の好みや得意なことなどを聞き取るようとしている。	■				
	相手に合う部活動を診断するために、積極的に質問しようとしている。			■		

時	ページ	主な活動内容	観点別評価 (方法)
1	p.38-39	ストーリーの話題を予測し、おおまかな内容をつかむ。 ◇Sounds and Letters ◆写真を見て部活動について興味をもち、ストーリーの話題を予測する。 ◆ストーリーを通して聞いて、おおまかな内容をつかむ。	
2	p.40	本文の内容を捉え、文脈の中で新出文法事項の意味・形・使い方を理解する。 ◇Sounds and Letters ◆p.40の本文を読んで、内容を理解する。 ◆Are you ~? の構文の意味と使い方を理解する。 ◆p.40の本文を教師の音読にしたがって読む。	○p.40の本文を読んで内容を理解したり、教師の音読にしたがって読むことができる。 (観察・ワークシート)

時	ページ	主な活動内容	観点別評価 (方法)
3	p.41	<p>Are you ~?を使った会話を聞いたり, Are you ~? を使って話したり書いたりする。</p> <p>◇Sounds and Letters</p> <p>◆Listen 部活動の見学に来た生徒と教師の会話を聞いて, 生徒の情報を聞き取る。</p> <p>◆Speak Are you ~?を使って好きなことをたずね合う。</p> <p>◆Write 友達が Yes.と答えそうな質問を書く。</p>	<p>○Are you ~?を使った会話から, 相手の情報を聞き取ることができる。</p> <p>○Are you ~?を使って好きなことなどをたずねる合うことができる。</p> <p>○Are you ~? を使って質問した文を書くことができる。 (観察・ワークシート)</p>
4	p.42	<p>本文の内容を捉え, 文脈の中で新出文法事項の意味・形・使い方を理解する。</p> <p>◇Sounds and Letters</p> <p>◆p.42 の本文を読んで, 内容を理解する。</p> <p>◆Do you ~?の構文の意味と形と使い方を理解する。</p> <p>◆p.42 の本文を教師の音読にしたがって読む。</p>	<p>○p.42 の本文を読んで内容を理解したり, 教師の音読にしたがって読むことができる。 (観察・ワークシート)</p>
5	p.43	<p>Do you ~? を使った会話を聞いたり, Do you ~?を使って話したり書いたりする。</p> <p>◇Sounds and Letters</p> <p>◆Listen 部活動についての会話を聞いて, 練習日などの情報を聞き取る。</p> <p>◆Speak Do you ~?を使って好きなことをたずね合う。</p> <p>◆Write 自分が質問した文を書く。</p>	<p>○Do you ~?を使った会話から, 部活動の練習日などの情報を聞き取ることができる。</p> <p>○Do you ~?を使って好きなことをたずね合うことができる。</p> <p>○Do you ~?を使って質問した文を書くことができる。 (観察・ワークシート)</p>
6	p.44	<p>本文の内容を捉え, 文脈の中で新出文法事項の意味・形・使い方を理解する。</p> <p>◇Sounds and Letters</p> <p>◆p.44 の本文を読んで, 内容を理解する。</p> <p>◆Can you ~?の構文の意味と形と使い方を理解する。</p> <p>◆p.44 の本文を教師の音読にしたがって読む。</p>	<p>○p.44 の本文を読んで内容を理解したり, 教師の音読にしたがって読むことができる。 (観察・ワークシート)</p>
7	p.45	<p>Can you ~?を使った会話を聞いたり, Can you ~?を使って話したり書いたりする。</p> <p>◇Sounds and Letters</p> <p>◆Listen 登場人物の会話を聞いて, その人物ができることとできないことを聞き取る。</p> <p>◆Speak 質問を考えて, 友達とできることをたずね合う。</p> <p>◆Write 自分が質問した文を書く。</p>	<p>○Can you ~?を使った会話から, できることやできないことを聞き取ることができる。</p> <p>○Can you ~?を使ってできることをたずね合うことができる。</p> <p>○Can you ~?を使って質問した文を書くことができる。 (観察・ワークシート)</p>
8	p.46	<p>Goal おすすめの部活動を診断しよう</p> <p>会話から好みや得意なことなどを聞き取ったり, 好みや得意なことなどについてたずね合ったりする。</p> <p>◆Listen 好みや得意なことをたずね合っている会話を聞いて, その人物に合う部活動を探す。</p> <p>◆Active Words スポーツや部活動を表す語彙を確認して, 部活動診断チャートを作る。</p> <p>◆Speak 診断チャートを使って好きなことや得意なことをたずね合い, 相手に合う部活動を探す。</p> <p>◆活動を振り返って自己評価をする。</p>	<p>●登場人物の会話から, その人物の好みや得意なことを聞き取り, 適切に理解している。</p> <p>■登場人物の会話から, その人物の好みや得意なことを聞き取ろうとしている。</p> <p>●相手に合う部活動を診断するために, 疑問文を適切に使って好きなことや得意なことをたずね合っている。</p> <p>■相手に合う部活動を診断するために, 適切な質問を考えて, 積極的にたずね合おうとしている。 (ワークシート)</p>

Unit 3	Enjoy the Summer		題材	夏休み
			教科書ページ	p.48-56
単元目標	・インタビューから、したいことなどを聞き取ることができる。 ・夏休みにしたいことについて、アンケートを取ることができる。		配当時間	8時間
			学習時期	6月
言語材料	基本文 Part 1 What do you do during the summer vacation? —I usually visit my grandparents. Part 2 I like dancing. Do you like dancing? Part 3 I want to get that blue one. Do you want to try it? 語句 enjoy, firework, climb, mountain, camping, homework, visit, grandparent, beach, try, yo-yo, fishing, during, vacation, with, family, just, boring, also, every, sound, fun, park, video, weekend, stay, home, grandfather, guitar, surf, Internet, walk, at, listen, really, of, course, bird, take, picture, badminton, use, computer, those, balloon, yeah, they, get, heavy, OK, pro, museum, skiing, swimming, aquarium, penguin, anything, else, flower 連語 every year take a picture this weekend Anything else? 表現 Sounds fun. Really? Of course. Oh, no. Watch me.			
言語の使用場面／働き	使用場面 (ア) 地域の行事 働き (ア) 相づちを打つ (イ) 苦情を言う (ウ) 説明する (エ) 意見を言う (オ) 質問する			

		評価規準					
		L	R	SI	SP	W	
知識・技能	What do you ~? の構文、動詞の-ing 形、want to ~ の表現について正確に理解している。	○	○	○		○	
	What do you ~?, 動詞の-ing 形、want to ~ を使った会話から、週末にすること、好きなこと、したいことを正確に聞き取ることができる。	○					
	What do you ~?, 動詞の-ing 形、want to ~ を使った英文を読んで、内容を正しく理解したり、教師の音読にしたがって読むことができる。		○				
	What do you ~?, 動詞の-ing 形、want to ~ を使って、週末にすること、好きなこと、したいことを正確にたずね合うことができる。			○			
	I を主語にした文、動詞の-ing 形、want to ~ を使って、週末にすること、好きなこと、したいことを伝えたりたずねたりする文を正確に書くことができる。					○	
思考・判断・表現	登場人物の夏休みの過ごし方を知るために、インタビューからその人物が夏休みにしたいことを聞き取り、適切に理解している。	●					
	友達の夏休みの過ごし方を知るために、夏休みにしたいことについて適切な質問をしてアンケートを取っている。			●			
主体的に学習に取り組む態度	登場人物の夏休みの過ごし方を知るために、インタビューからその人物が夏休みにしたいことを聞き取ろうとしている。	■					
	友達の夏休みの過ごし方を知るために、積極的に質問を続けながらアンケートを取ろうとしている。			■			

時	ページ	主な活動内容	観点別評価 (方法)
1	p.48-49	ストーリー的话题を予測し、おおまかな内容をつかむ。 ◇Sounds and Letters ◆絵や写真を見て夏休みすることに興味をもち、ストーリー的话题を予測する。 ◆ストーリーを通して聞いて、おおまかな内容をつかむ。	

時	ページ	主な活動内容	観点別評価 (方法)
2	p.50	本文の内容を捉え、文脈の中で新出文法事項の意味・形・使い方を理解する。 ◇Sounds and Letters ◆p.50の本文を読んで、内容を理解する。 ◆What do you ~?の構文の意味と形と使い方を理解する。 ◆p.50の本文を教師の音読にしたがって読む。	○p.50の本文を読んで内容を理解したり、教師の音読にしたがって読むことができる。 (観察・ワークシート)
3	p.51	What do you ~?を使った会話を聞いたり、What do you ~?を使って話したり、その答えを書いたりする。 ◇Sounds and Letters ◆Listen 登場人物の会話を聞いて、それぞれの人物が週末にすることを聞き取る。 ◆Speak What do you ~?を使って週末にすることをたずね合う。 ◆Write 自分が週末にすることを書く。	○What do you ~?を使った会話から、週末にすることを聞き取ることができる。 ○What do you ~?を使って週末にすることをたずね合うことができる。 ○自分が週末にすることを文に書くことができる。 (観察・ワークシート)
4	p.52	本文の内容を捉え、文脈の中で新出文法事項の意味・形・使い方を理解する。 ◇Sounds and Letters ◆p.52の本文を読んで、内容を理解する。 ◆動詞の-ing形の意味と形と使い方を理解する。 ◆p.52の本文を教師の音読にしたがって読む。	○p.52の本文を読んで内容を理解したり、教師の音読にしたがって読むことができる。 (観察・ワークシート)
5	p.53	動詞の-ing形を使った会話を聞いたり、動詞の-ing形を使って話したり書いたりする。 ◇Sounds and Letters ◆Listen 夏休みのキャンプについての会話を聞いて、好きなことや行きたいキャンプ場の情報を聞き取る。 ◆Speak 動詞の-ing形を使って、好きなことをたずね合う。 ◆Write 自分が質問した文を書く。	○動詞の-ing形を使った会話から、好きなことなどを聞き取ることができる。 ○動詞の-ing形を使って好きなことをたずね合うことができる。 ○動詞の-ing形を使って質問した文を書くことができる。 (観察・ワークシート)
6	p.54	本文の内容を捉え、文脈の中で新出文法事項の意味・形・使い方を理解する。 ◇Sounds and Letters ◆p.54の本文を読んで、内容を理解する。 ◆want to ~の意味と形と使い方を理解する。 ◆p.54の本文を教師の音読にしたがって読む。	○p.54の本文を読んで内容を理解したり、教師の音読にしたがって読むことができる。 (観察・ワークシート)
7	p.55	want to ~を使った会話を聞いたり、want to ~を使って話したり書いたりする。 ◇Sounds and Letters ◆Listen 旅行代理店の場面の会話を聞いて、それぞれの人物が夏にしたいことを聞き取る。 ◆Speak want to ~を使って、週末に行きたい場所やしたいことをたずね合う。 ◆Write 自分が週末にしたいことを書く。	○want to ~を使った会話から、したいことを聞き取ることができる。 ○want to ~を使って行きたい場所やしたいことをたずね合うことができる。 ○want to ~を使って週末にしたいことを書くことができる。 (観察・ワークシート)
8	p.56	Goal 夏休みにしたいことのアンケートを取ろう インタビューからその人物がしたいことなどを聞き取ったり、夏休みにしたいことについてアンケートを取ったりする。 ◆Listen 先生へのインタビューを聞いて、その先生がこの夏にしたいと思っていることを聞き取る。 ◆Speak グループになり、夏休みにしたいことについてアンケートを取る。 ◆活動を振り返って自己評価をする。	●インタビューから、その人物が夏にしたいことを聞き取り、適切に理解している。 ■インタビューから、その人物がしたいことを聞き取ろうとしている。 ●友達の夏休みの過ごし方を知るために、夏休みにしたいことについて適切な質問をしてアンケートを取っている。 ■友達の夏休みの過ごし方を知るために、積極的に質問を続けながらアンケートを取ろうとしている。 (ワークシート)

World Tour1	世界の中学生	教科書ページ	p.57
		配当時間	1時間
教材の目標	・世界の挨拶や、中学生の生活の様子を知ることができる。	学習時期	7月
言語材料	基本文 How do you go to school? How many pets do you have? 語句 the U.K., Argentina, Nepal, Romania, school, many, pet, have, car, subway, foot, bus 表現 How many ~? on foot		
言語の使用場面 /働き	働き (オ) 質問する		

	評価規準	評価規準				
		L	R	SI	SP	W
知識・技能	How many ~?や How do you ~?の構文について正確に理解している。	○				
	How many ~?などを使ったインタビューのやり取りから、必要な情報を正確に聞き取ることができる。	○				
思考・判断・表現	自分たちとの共通点や相違点に気づくために、インタビューから世界の中学生の生活の様子を聞き取り、適切に理解している。	●				
主体的に学習に取り組む態度	世界の中学生の話で印象に残ったことを積極的に発言し、外国の文化への理解を深めている。	■				

時	ページ	主な活動内容	観点別評価 (方法)
1	p.57	<p>インタビューを聞いて、世界の挨拶や中学生の生活の様子を知り、印象に残ったことを話し合う。</p> <p>◇Sounds and Letters</p> <p>◆4人の中学生が住む国について知っていることを話し合う。</p> <p>◆How do you go to school?と How many pets do you have? という2つの質問の意味を理解する。</p> <p>◆それぞれの中学生のインタビューを聞いて、2つの質問の答えを聞き取る。</p> <p>◆自分たちとの共通点や相違点に気づく目的で、もう一度インタビューを聞く。</p> <p>◆世界の中学生の話で印象に残ったことを話し合う。</p>	<p>○インタビューから、必要な情報を聞き取ることができる。</p> <p>●自分たちとの共通点や相違点に気づくために、インタビューから世界の中学生の生活の様子を聞き取り、適切に理解している。</p> <p>■世界の中学生の話で印象に残ったことを積極的に発言し、外国の文化への理解を深めている。</p> <p>(観察・ワークシート)</p>

Active Grammar 1	am, are / 一般動詞 / can	教科書ページ	p.58-59
		配当時間	2時間
教材の目標	・自分と相手のことを伝える言い方を理解することができる。	学習時期	7月
言語材料	【復習】 am, are (be 動詞) be 動詞以外の動詞 (一般動詞) can (助動詞)		

評価規準	
知識	am, are や一般動詞や can を使って自分と相手のことを伝える言い方を正確に理解している。 Unit 1～3 のストーリーを読んで、am, are や一般動詞や can, can't を○で囲み、その文の意味を理解することができる。

時	ページ	主な活動内容	観点別評価 (方法)
1	p.58-59	am, are や一般動詞を使って自分と相手のことを伝える言い方を理解する。 ◇Sounds and Letters ◆Tina の自己紹介から be 動詞, 一般動詞, 助動詞 can の使用場面と意味を理解する。 ◆am, are を使った肯定文, 疑問文, 否定文の形を理解する。 ◆am, are の使い方の練習をする。 ◆一般動詞を使った肯定文, 疑問文, 否定文の形を理解する。 ◆一般動詞の使い方を練習する。 ◆am, are について Grammar Hunt の活動をする。 ◆一般動詞について Grammar Hunt の活動をする。	○Unit 1～3 のストーリーを読んで、am, are や一般動詞を○で囲み、その文の意味を理解することができる。 (観察・ワークシート)
2	p.58-59	can を使って自分と相手のことを伝える言い方を理解し、 am, are , 一般動詞, can の使い方に慣れる。 ◇Sounds and Letters ◆can を使った肯定文, 疑問文, 否定文の形を理解する。 ◆can の使い方の練習をする。 ◆can について Grammar Hunt の活動をする。 ◆活動を通して、am, are と一般動詞と can の使い方の違いに慣れる。	○Unit 1～3 のストーリーを読んで、can, can't を○で囲み、その文の意味を理解することができる。 (観察・ワークシート)

You Can Do It! 1	自己紹介で共通点・相違点を見つけよう	教科書ページ	p.60-61
		配当時間	2時間
教材の目標	・6人の中学生のプロフィールを読んで、共通点・相違点を見つけることができる。 ・自己紹介をし合い、お互いの共通点・相違点を見つけることができる。	学習時期	7月
言語材料	語句 hobby, favorite, sing, talk, people, all, over, world, travel, Japanese, chess, the Philippines, animal, be, vet, future 連語 listen to ～, talk to ～, all over the world, be good at ～, in the future		
言語の使用場面／働き	使用場面 (イ) 自己紹介 働き (ウ) 説明する		

		評価規準				
		L	R	SI	SP	W
知識・技能	プロフィールから、それぞれの出身地、誕生日、趣味、好きなことやしたいことなどの情報を正確に読み取ることができる。		○			
	自分の出身地、誕生日、趣味、好きなことやしたいことなどを、簡単な語句や文を用いて正確に話すことができる。				○	
思考・判断・表現	それぞれの共通点・相違点を見つけるために、6人の中学生のプロフィールを読んで、内容を適切に理解している。		●			
	友達に自分のことを知ってもらうために、伝えたいことを整理して適切に自己紹介をしている。				●	
主体的に学習に取り組む態度	それぞれの共通点・相違点を見つけるために、6人の中学生のプロフィールを読んで内容を理解しようとしている。		■			
	積極的に友達に自分のことを知ってもらうために自己紹介をしようとしている。				■	

時	ページ	主な活動内容	観点別評価 (方法)
1	p.60	<p>6人の中学生のプロフィールを読んで内容を理解し、それぞれの共通点・相違点を見つける。</p> <p>Reading</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆プロフィールの形式を理解する。 ◆Q&Aをしながら、それぞれのプロフィールの内容を捉える。 ◆ペアになり、プロフィールを読みながら、それぞれの共通点・相違点を見つけて発表する。 <p>Thinking</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆6人の中に自分と共通点・相違点がある人がいたかどうか考えて発表する。 	<p>○プロフィールから、それぞれの出身地、誕生日、趣味、好きなことやしたいことなどの情報を正確に読み取ることができる。</p> <p>●共通点・相違点を見つけるために、6人の中学生のプロフィールを読んで、内容を理解している。</p> <p>■6人の中学生のプロフィールを読んで、共通点・相違点を見つけようとしている。</p> <p>(観察・ワークシート)</p>
2	p.61	<p>グループで自己紹介をし合い、お互いの共通点・相違点を見つける。</p> <p>Thinking</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆自己紹介で相手に興味をもってもらうには、どんなことを話題にするのがよいか話し合う。 <p>Speaking</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆自己紹介の内容を考えてメモを作る。 ◆ペアで自己紹介の練習をする。 ◆グループで自己紹介をし合う。友達の自己紹介を聞きながら、自分との共通点・相違点をメモする。 ◆グループの中で、自分が見つけた共通点・相違点を発表する。 ◆活動をふり返って自己評価をする。 	<p>○自分の出身地、誕生日、趣味、好きなことやしたいことなどを、簡単な語句や文を用いて正確に話すことができる。</p> <p>●伝えたいことを整理して自己紹介している。</p> <p>■積極的に友達に自分のことを知ってもらおうとしている。</p> <p>(観察・ワークシート)</p>

Unit 4	Our New Friend	題材	転校生
		教科書ページ	p.62-71
単元目標	<ul style="list-style-type: none"> 人物紹介から、基本的な情報を聞き取ることができる。 身近な人などについて、基本的な情報を紹介することができる。 	配当時間	9時間
		学習時期	9月
言語材料	<p>基本文 Part 1 This is Ms. Brown. She's an English teacher. That's Mr. Hoshino. He's our P.E. teacher.</p> <p>Part 2 Who's that? —He's a new student.</p> <p>Part 3 Is he your friend? —Yes, he is. / No, he isn't. He's not in the brass band.</p> <p>語句 our, teacher, English, P.E., social studies, Korea, he, strict, his, class, popular, her, interesting, wait, kind, funny, strong, friendly, who, maybe, player, him, let's, ask, actor, singer, astronaut, dancer, tough, comedian, writer, game, classmate, hey, neighbor, brother, sister, teammate, smart, brave, cheerful, shy</p> <p>表現 I can't wait. Let's ~. Hey.</p>		
言語の使用場面／働き	<p>使用場面 (ア) 学校での学習や活動</p> <p>働き (ア) 相づちを打つ (イ) 褒める (ウ) 説明する (オ) 質問する</p>		

	評価規準	L R SI SP W				
		知識・技能	3人称単数を主語とする be 動詞の文や Who's ~? の構文について正確に理解している。	○	○	○
	3人称単数を主語とする be 動詞の文や Who's ~? を使った会話から、人についての情報を正確に聞き取ることができる。	○				
	3人称単数を主語とする be 動詞の文や Who's ~? を使った英文を読んで、内容を正しく理解したり、正しく音読したりすることができる。		○			
	3人称単数を主語とする be 動詞の文や Who's ~? を使って、人について正確に伝え合うことができる。			○	○	
	3人称単数を主語とする be 動詞の文や Who's ~? を使って、人を紹介したり人についてたずねたりする文を正確に書くことができる。					○
思考・判断・表現	人物をどのように紹介しているかを知るために、会話から人物の基本的な情報を聞き取り、適切にメモを取っている。	●				
	友達がよく知っている人物について基本的な情報を適切に紹介して、Who's this? クイズを出題している。				●	
主体的に学習に取り組む態度	人物をどのように紹介しているかを知るために、会話から人物の基本的な情報を聞き取り、メモを取ろうとしている。	■				
	その人物が誰か友達が分かるように、紹介の仕方を工夫しようとしている。				■	

時	ページ	主な活動内容	観点別評価 (方法)
1	p.62-63	<p>ストーリーの話題を予測し、おおまかな内容をつかむ。</p> <p>◇帯活動</p> <p>◆転校生や先生たちの絵を見て、ストーリーの話題を予測する。</p> <p>◆ストーリーを通して聞いて、おおまかな内容をつかむ。</p>	
2	p.64	<p>本文の内容を捉え、文脈の中で新出文法事項の意味・形・使い方を理解する。</p> <p>◇帯活動</p> <p>◆p.64の本文を読んで、内容を理解する</p> <p>◆He/She is ~.の意味と形と使い方を理解する。</p> <p>◆p.64の本文を音読する。</p>	<p>○p.64の本文を読んで内容を理解したり、音読したりすることができる。</p> <p>(観察・ワークシート)</p>

時	ページ	主な活動内容	観点別評価 (方法)
3	p.65	<p>He/She is ～. を使った人の紹介を聞いたり, He/She is ～. を使って話したり書いたりする。</p> <p>◇帯活動</p> <p>◆Listen 先生たちの紹介を聞いて, その先生の性格などの情報を聞き取る。</p> <p>◆Speak p.62-63 のイラストにある先生から 1 人を選び, 例にならってペアで紹介し合う。</p> <p>◆Write 自分が紹介した先生について書く。</p>	<p>○He / She is ～. を使った会話から, 先生の性格などの情報を聞き取ることができる。</p> <p>○He / She is ～. を使って, イラストの先生を紹介することができる。</p> <p>○He / She is ～. を使って, 紹介した先生について書くことができる。 (観察・ワークシート)</p>
4	p.66	<p>本文の内容を捉え, 文脈の中で新出文法事項の意味・形・使い方を理解する。</p> <p>◇帯活動</p> <p>◆p.66 の本文を読んで, 内容を理解する。</p> <p>◆Who's ～? の意味と形と使い方を理解する。</p> <p>◆p.66 の本文を音読する。</p>	<p>○p.66 の本文を読んで内容を理解したり, 音読したりすることができる。 (観察・ワークシート)</p>
5	p.67	<p>Who's ～? を使った会話を聞いたり, Who's ～? を使って話したり書いたりする。</p> <p>◇帯活動</p> <p>◆Listen 有名人についての会話から職業を聞き取る。</p> <p>◆Speak ペアになり, 例にならって好きなスポーツ選手や歌手などをたずね合う。</p> <p>◆Write 質問の文と自分が答えた文を書く。</p>	<p>○Who's ～? を使った会話から, 有名人の職業を聞き取ることができる。</p> <p>○Who's ～? を使って, 好きなスポーツ選手や歌手をたずね合うことができる。</p> <p>○Who's ～? を使った文とその答えを書くことができる。 (観察・ワークシート)</p>
6	p.68	<p>本文の内容を捉え, 文脈の中で新出文法事項の意味・形・使い方を理解する。</p> <p>◇帯活動</p> <p>◆p.68 の本文を読んで, 内容を理解する。</p> <p>◆Is he ～? と He's not ～. の意味と形と使い方を理解する。</p> <p>◆p.68 の本文を音読する。</p>	<p>○p.68 の本文を読んで内容を理解したり, 音読したりすることができる。 (観察・ワークシート)</p>
7	p.69	<p>Is he / she ～? を使った会話を聞いたり, Is he / she ～? を使って話したり書いたりする。</p> <p>◇帯活動</p> <p>◆Listen 登場人物の会話を聞いて, 話者と写真の人物との関係を聞き取る。</p> <p>◆Speak 好きな登場人物を選び, ペアでその人物との関係や性格をたずね合い, 誰かを当てる。</p> <p>◆Write 友達が質問したことを書く。</p>	<p>○Is he / she ～? を使った会話から, 写真の人物との関係を聞き取ることができる。</p> <p>○Is he / she ～? を使って, 人物との関係や性格をたずね合うことができる。</p> <p>○Is he / she ～? を使って友達の質問を書くことができる。 (観察・ワークシート)</p>
8	p.70-71	<p>Goal 誰のことを当てよう</p> <p>人物紹介から基本的な情報を聞き取り, メモを取る。</p> <p>◇帯活動</p> <p>◆Listen Kota が Mr. Utada のことを紹介している場面の会話を聞き, 「職業」「得意なこと」「性格」「その他」についてメモを取る。</p> <p>◆「関係」「得意なこと」「性格」などについて紹介する言い方を確認する。</p>	<p>●会話から人物の基本的な情報を聞き取り, メモを取っている。</p> <p>■会話から人物の基本的な情報を聞き取り, メモを取ろうとしている。 (ワークシート)</p>
9	p.71	<p>紹介する人物の情報をまとめ, グループで Who is thus? クイズをする。</p> <p>◇帯活動</p> <p>◆Speak 紹介する人物の情報をまとめ, クイズの準備をする。</p> <p>◆グループになり, Who is this? クイズをする。</p> <p>◆活動をふり返り, 自己評価をする。</p>	<p>●友達がよく知っている人物について基本的な情報を適切に紹介して, Who is this? クイズを出題している。</p> <p>■友達が分かるように, 紹介の仕方を工夫しようとしている。 (ワークシート)</p>

Unit 5	This Is Our School		題材	学校公開
			教科書ページ	p.72-81
単元目標	・学校公開の案内状から、時間や場所などを読み取ることができる。 ・お気に入りの学校内の施設について、たずね合うことができる。		配当時間	9時間
			学習時期	10月
言語材料	基本文 Part 1 Where's the cafeteria? — On the second floor. Where do you have lunch? — In the classroom. Part 2 Watch your step. Don't use the phone. Let's go to the classroom. Part 3 When's the school open day? — On Saturday, October 29. When do you have drama club? — After clean-up time. 語句 pool, gym, entrance, gate, hallway, restroom, behind, between, front, near, next, cafeteria, serve, together, nurse, office, room, floor, stair, cooking, school principal, step, off, out, slipper, put, them, idea, mom, follow, phone, later, clean-up, time, clean, day, sweep, wipe, blackboard, impressed, tidy, morning, afternoon, study, shopping, house, bath, before, dinner, open, schoolyard, note, please, bring, own, main, break 連語 between ~ and ... in front of ~ over there next to ~ watch one's step, take off ~ take out ~ put ~ on every day go shopping take a bath go to bed after school 表現 Watch your step. This is a good idea. I'm impressed.			
言語の使用場面／働き	使用場面 (ア) 学校での学習や活動 働き (ア) 相づちを打つ (イ) 褒める (ウ) 説明する (エ) 意見を言う (オ) 質問する			

		評価規準				
		L	R	SI	SP	W
知識・技能	where や when で始まる疑問文や命令文について正確に理解している。	○	○	○	○	○
	where や when で始まる疑問文や命令文を使った会話から、場所や時間を正確に聞き取ることができる。	○				
	where や when で始まる疑問文や命令文を使った英文を読んで、内容を正しく理解したり、正しく音読したりすることができる。		○			
	where や when で始まる疑問文や命令文を使って、場所や時間を正確にたずね合ったり標識の意味を説明したりすることができる。			○		
	where や when で始まる疑問文や命令文を使って、やり取りしたり説明したりした内容を正確に書くことができる。					○
思考・判断・表現	学校公開の日程や注意事項を知るために、案内状から必要な情報を読み取り、適切に理解している。		●			
	自分の学校のよいところを知るために、お気に入りの校内施設について適切にたずね合っている。			●		
主体的に学習に取り組む態度	学校公開の案内状から必要な情報を読み取ろうとしている。		■			
	お気に入りの校内施設について積極的にたずね合おうとしている。			■		

時	ページ	主な活動内容	観点別評価 (方法)
1	p.72-73	ストーリー的话题を予測し、おおまかな内容をつかむ。 ◇帯活動 ◆絵を見て、ストーリー的话题を予測する。 ◆ストーリーを通して聞いて、おおまかな内容をつかむ。	
2	p.74	本文の内容を捉え、文脈の中で新出文法事項の意味・形・使い方を理解する。 ◇帯活動 ◆p.74の本文を読んで、内容を理解する。 ◆whereで始まる疑問文の意味と形と使い方を理解する。 ◆p.74の本文を音読する。	○p.74の本文を読んで内容を理解したり、音読したりすることができる。 (観察・ワークシート)

時	ページ	主な活動内容	観点別評価 (方法)
3	p.75	<p>where で始まる疑問文を使った会話を聞いたり, where で始まる疑問文を使って話したり書いたりする。</p> <p>◇帯活動</p> <p>◆Listen 登場人物の会話を聞いて, 校内の施設がある場所を聞き取る。</p> <p>◆Speak Tina が自分の学校に来た場面を想定して, 校内の施設がある場所をたずね合うやり取りをする。</p> <p>◆Write やり取りした内容を書く。</p>	<p>○where を使った会話から, 場所を聞き取ることができる。</p> <p>○where を使って, 校内の施設がある場所をたずね合うことができる。</p> <p>○where を使って, やり取りした内容を書くことができる。</p> <p>(観察・ワークシート)</p>
4	p.76	<p>本文の内容を捉え, 文脈の中で新出文法事項の意味・形・使い方を理解する。</p> <p>◇帯活動</p> <p>◆p.76 の本文を読んで, 内容を理解する。</p> <p>◆命令文や Let's ~ の意味と形と使い方を理解する。</p> <p>◆p.76 の本文を音読する。</p>	<p>○p.76 の本文を読んで内容を理解したり, 音読したりすることができる。</p> <p>(観察・ワークシート)</p>
5	p.77	<p>命令文を使ったアナウンスを聞いたり, 命令文を使って話したり書いたりする。</p> <p>◇帯活動</p> <p>◆Listen ツアーガイドのアナウンスを聞いて, 聞き取った情報からどの場所にいるかを理解する。</p> <p>◆Speak 命令文を使って標識の意味を説明し合う。</p> <p>◆Write 自分が説明したものを書く。</p>	<p>○命令文を使ったアナウンスから, 人物がいる場所を理解することができる。</p> <p>○命令文を使って, 標識の意味を説明することができる。</p> <p>○命令文を使って, 自分が説明した文を書くことができる。(観察・ワークシート)</p>
6	p.78	<p>本文の内容を捉え, 文脈の中で新出文法事項の意味・形・使い方を理解する。</p> <p>◇帯活動</p> <p>◆p.78 の本文を読んで, 内容を理解する。</p> <p>◆when で始まる疑問文の意味と形と使い方を理解する。</p> <p>◆p.78 の本文を音読する。</p>	<p>○p.78 の本文を読んで内容を理解したり, 音読したりすることができる。</p> <p>(観察・ワークシート)</p>
7	p.79	<p>疑問詞 when を使った会話を聞いたり, 疑問詞 when を使って話したり書いたりする。</p> <p>◇帯活動</p> <p>◆Listen 登場人物の会話を聞いて, 週末の予定を聞き取る。</p> <p>◆Speak ペアになって, いつ, 何をするかたずね合い, 1 日の生活の違いを確かめる。</p> <p>◆Write 友達とやり取りした内容を書く。</p>	<p>○疑問詞 when を使った会話から, 週末の予定を聞き取ることができる。</p> <p>○疑問詞 when を使って, いつ, 何をするかをたずね合うことができる。</p> <p>○疑問詞 when を使って, やり取りした内容を書くことができる。</p> <p>(観察・ワークシート)</p>
8	p.80	<p>Goal 学校内を紹介しよう</p> <p>学校公開の案内状を読んで内容を理解する。</p> <p>◇帯活動</p> <p>◆Read 案内状を読んで, いつ, どこで, 何の授業が公開されるかを理解する。</p> <p>◆案内状から注意事項を読み取る。</p> <p>◆Speak 自分のお気に入りの校内の施設について, 紹介することをメモにまとめる。</p>	<p>●学校公開の案内状から, 必要な情報を読み取り, 適切に理解している。</p> <p>■学校公開の案内状から, 必要な情報を読み取るようとしている。</p> <p>(ワークシート)</p>
9	p.81	<p>お気に入りの校内施設について友達とたずね合う。</p> <p>◇帯活動</p> <p>◆Speak ペアになって, お気に入りの校内施設についてたずね合う。</p> <p>◆5 人の友達とお気に入りの校内施設についてたずね合い, メモを取る。</p> <p>◆自分がいちばんよいと思った施設を発表する。</p> <p>◆活動を振り返って自己評価をする。</p>	<p>●自分の学校のよいところを知るために, お気に入りの校内施設についてたずね合っている。</p> <p>■自分の学校のよいところを知るために, お気に入りの校内施設について積極的にたずね合おうとしている。</p> <p>(ワークシート)</p>

Daily Life 2	落とし物	教科書ページ	p.82
		配当時間	1時間
教材の目標	・落とし物の持ち主を探すやり取りができる。	学習時期	10月
言語材料	基本文 Whose pencil case is that? Is it yours ? —No, it's not mine . Maybe it's Hiro's. 語句 whose, case, pencil case, under, desk, yours, mine, eraser, ruler, textbook		
言語の使用場面 ／働き	使用場面 (ア) 学校での学習や活動 働き (オ) 質問する		

	評価規準	L	R	SI	SP	W
知識・技能	whose で始まる疑問文や「～のもの」という言い方について正確に理解している。			○		
	whose や「～のもの」という言い方を使って、落とし物の持ち主を探すやり取りをすることができる。			○		

時	ページ	主な活動内容	観点別評価 (方法)
1	p.82	<p>落とし物の持ち主を探すやり取りを演じたり、モデルを参考にして自分たちで考えたやり取りをしたりする。</p> <p>◇帯活動</p> <p>◆Whose ～?という言い方を使って生徒とやり取りをする。 yours, mine, ～s も導入する。</p> <p>◆落とし物の持ち主を探すやり取りを聞いて内容を理解する。</p> <p>◆ペアになり、教科書に示されたやり取りを演じる。</p> <p>◆ペアで、教科書の続きのやり取りを考えて演じる。</p> <p>◆Active Words 身の回りのものを表す語彙を確認する。</p> <p>◆ペアで、落とし物の種類や見つけた場所を変えて、オリジナルのやり取りを考えて演じる。</p>	○疑問詞 whose や「～のもの」という言い方を使って、落とし物の持ち主を探すやり取りをすることができる。(ワークシート)

Active Grammar 2	代名詞	教科書ページ	p.83
		配当時間	1 時間
教材の目標	・代名詞の使い方を理解することができる。	学習時期	10 月
言語材料	【復習】 人称代名詞 (主格・所有格・目的格・所有代名詞) 指示代名詞 語句 us, ours, hers, its, their, theirs, these		

	評価規準
知識	人称代名詞や指示代名詞の使い方を正確に理解している。
	Unit 4～5 を読んで代名詞を○で囲み、その使い方を理解することができる。

時	ページ	主な活動内容	観点別評価 (方法)
1	p.83	人称代名詞や指示代名詞の使い方を理解する。 ◇帯活動 ◆Ms. Brown についての説明から、代名詞の使用場面と意味を理解する。 ◆人称代名詞の形を理解する。 ◆人称代名詞の使い方の練習をする。 ◆指示代名詞の形を理解する。 ◆指示代名詞の使い方を練習する。 ◆Grammar Hunt の活動をする。	○Unit 4～5 のストーリーを読んで代名詞を○で囲み、その使い方を理解することができる。 (観察・ワークシート)

Unit 6	Cheer Up, Tina		題材	家族
			教科書ページ	p.84-93
単元目標	・紹介文から、その人物が誰かを読み取ることができる。 ・身近な人の基本的な情報を伝える、紹介文を書くことができる。		配当時間	9時間
			学習時期	11月
言語材料	基本文 Part 1 She likes singing and dancing. Part 2 Does she have a cold? —Yes, she does. / No, she doesn't. Part 3 She doesn't go to school. 語句 cheer, grandmother, grandma, grandpa, parent, mother, dad, aunt, uncle, cousin, very, active, hard, has, lot, quiet, speak, early, cook, newspaper, video call, almost, Christmas, for, ball, sorry, all right, dear, does, cold, live, work, Puerto Rico, station, restaurant, hospital, sleep, either, sure, worry, bit, need, some, rest, video game, set, table, garbage, wash, dish, junior, high, junior high school, same, give, easily 連語 cheer up a lot of ~ these days get up in bed have a cold live in ~ a little bit set the table take out the garbage wash the dishes clear the table come from ~ take a class give up very much 表現 Sorry. All right. Sure. Don't worry.			
言語の使用場面／働き	使用場面 (ア) 家庭での生活 働き (ア) 相づちを打つ (イ) 謝る (ウ) 説明する (オ) 質問する			

		評価規準					
		L	R	SI	SP	W	
知識・技能	3人称単数を主語とする一般動詞を使った肯定文・疑問文・否定文について正確に理解している。	○	○	○		○	
	3人称単数を主語とする一般動詞の文を使った話や会話から、身近な人などの情報を正確に聞き取ることができる。	○					
	3人称単数を主語とする一般動詞の文を使った英文を読んで、内容を正しく理解したり、正しく音読したりすることができる。		○				
	3人称単数を主語とする一般動詞の文を使って、友達について正確に説明したりたずね合ったりすることができる。			○	○		
	3人称単数を主語とする一般動詞の文を使って、友達について説明したりたずねたりする文を正確に書くことができる。					○	
思考・判断・表現	誰を紹介しているかを知るために、紹介文を読んで内容を適切に理解している。		●				
	クラスの友達に紹介するために、適切な組み立てと表現で自分の身近なすきな人を紹介する文を書いている。					●	
主体的に学習に取り組む態度	誰を紹介しているかを知るために、紹介文を読んで内容を理解しようとしている。		■				
	クラスの友達にその人のよさが伝わるように、紹介文を書こうとしている。					■	

時	ページ	主な活動内容	観点別評価 (方法)
1	p.84-85	ストーリー的话题を予測し、おおまかな内容をつかむ。 ◇帯活動 ◆絵を見て自分の身近な人について考え、ストーリー的话题を予測する。 ◆ストーリーを通して聞いて、おおまかな内容をつかむ。	
2	p.86	本文の内容を捉え、文脈の中で新出文法事項の意味・形・使い方を理解する。 ◇帯活動 ◆p.86の本文を読んで、内容を理解する。 ◆3人称単数を主語とする一般動詞の肯定文の意味と形と使い方を理解する。 ◆p.86の本文を音読する。	○p.86の本文を読んで内容を理解したり、音読したりすることができる。 (観察・ワークシート)

時	ページ	主な活動内容	観点別評価 (方法)
3	p.87	<p>3 人称単数を主語とする一般動詞の肯定文を使った家族の紹介を聞いたり、その文を使って話したり書いたりする。</p> <p>◇帯活動</p> <p>◆Listen 家族の紹介を聞いて、人物の情報を聞き取る。</p> <p>◆Speak ペアでお互いのことをたずね合い、わかったことをクラスメートに紹介する。</p> <p>◆Write 紹介した内容を書く。</p>	<p>○家族の紹介から、それぞれの人物の情報を聞き取ることができる。</p> <p>○友達とたずね合ってわかったことを、3 人称単数を主語とする肯定文を使って紹介することができる。</p> <p>○紹介した内容を書くことができる。 (観察・ワークシート)</p>
4	p.88	<p>本文の内容を捉え、文脈の中で新出文法事項の意味・形・使い方を理解する。</p> <p>◇帯活動</p> <p>◆p.88 の本文を読んで、内容を理解する。</p> <p>◆3 人称単数を主語とする一般動詞の疑問文の意味と形と使い方を理解する。</p> <p>◆p.88 の本文を音読する。</p>	<p>○p.88 の本文を読んで内容を理解したり、音読したりすることができる。 (観察・ワークシート)</p>
5	p.89	<p>3 人称単数を主語とする一般動詞の疑問文を使った会話を聞いたり、その文を使って話したり書いたりする。</p> <p>◇帯活動</p> <p>◆Listen 登場人物の親戚を紹介している会話を聞いて、住んでいる国や好きなことなどの情報を聞き取る。</p> <p>◆Speak ペアになり、教科書の登場人物について好きな質問を3つ以上考えてたずね合う。</p> <p>◆Write 自分が質問した文を書く。</p>	<p>○親戚についての会話から、住んでいる国などの情報を聞き取ることができる。</p> <p>○3 人称単数を主語とする疑問文を使って、教科書の登場人物についてたずね合うことができる。</p> <p>○自分が質問した文を書くことができる。 (観察・ワークシート)</p>
6	p.90	<p>本文の内容を捉え、文脈の中で新出文法事項の意味・形・使い方を理解する。</p> <p>◇帯活動</p> <p>◆p.90 の本文を読んで、内容を理解する。</p> <p>◆3 人称単数を主語とする一般動詞の否定文の意味と形と使い方を理解する。</p> <p>◆p.90 の本文を音読する。</p>	<p>○p.90 の本文を読んで内容を理解したり、音読したりすることができる。 (観察・ワークシート)</p>
7	p.91	<p>3 人称単数を主語とする一般動詞の否定文を使った会話を聞いたり、その文を使って話したり書いたりする。</p> <p>◇帯活動</p> <p>◆Listen 登場人物についての会話を聞いて、その人物がすることとしないことを聞き取る。</p> <p>◆Speak ペアでお互いが家であることをたずね合い、友達が家であることをとしないことを発表する。</p> <p>◆Write 自分が発表した内容を書く。</p>	<p>○登場人物についての会話から、することとしないことを聞き取ることができる。</p> <p>○友達とたずね合ってわかったことを、3 人称単数を主語とする文を使って発表することができる。</p> <p>○発表した内容を書くことができる。 (観察・ワークシート)</p>
8	p.92	<p>Goal 身近にいるすてきな人を紹介しよう 登場人物が書いた紹介文を読んで、誰のことを紹介しているか考えたり、質問に答えたりして内容を理解する。</p> <p>◇帯活動</p> <p>◆Read 紹介文を読んで、誰を紹介しているか考える。</p> <p>◆教科書の質問に答える文に線を引く。</p>	<p>●紹介文を読んで、誰を紹介しているか適切に理解している。</p> <p>■誰を紹介しているかを知るために、紹介文を読もうとしている。 (ワークシート)</p>
9	p.93	<p>クラスの友達に向けて、身近なすてきな人を紹介する文を書く。</p> <p>◇帯活動</p> <p>◆紹介したい人の情報をメモにまとめる。</p> <p>◆メモをもとに紹介文を書く。</p> <p>◆グループで紹介文を読み合い、感想を交流する。</p> <p>◆活動を振り返って自己評価する。</p>	<p>●適切な組み立てと表現で自分の身近なすてきな人の紹介文を書いている。</p> <p>■クラスの友達にその人のよさが伝わるように紹介文を書こうとしている。 (ワークシート)</p>

Active Grammar 3	is / 3人称単数現在形	教科書ページ	p.94
		配当時間	1時間
教材の目標	・自分と相手以外のことを伝える言い方を理解することができる。	学習時期	11月
言語材料	【復習】 is (主語が3人称単数のときのbe動詞) 3人称単数現在形 (主語が3人称単数のときの一般動詞)		

評価規準	
知識	主語が3人称単数のときのbe動詞と一般動詞の使い方を正確に理解している。
	Unit 4～6を読んでisと語尾に—(e)sの付いた一般動詞を○で囲み、その文の主語を確かめることができる。

時	ページ	主な活動内容	観点別評価 (方法)
1	p.94	<p>自分と相手以外のことを伝える言い方を理解し、使い方に慣れる。</p> <p>◇帯活動</p> <p>◆Tina についての会話から、3人称単数のときのbe動詞と一般動詞の使用場面と意味を理解する。</p> <p>◆is を使う肯定文・疑問文・否定文の形を理解する。</p> <p>◆3人称単数のときの一般動詞を使う肯定文・疑問文・否定文の形を理解する。</p> <p>◆3人称単数のときのbe動詞と一般動詞の使い方を練習する。</p> <p>◆Grammar Hunt の活動をする。</p> <p>◆Unit 1 のストーリーの絵を見て、登場人物について説明する。</p>	<p>○Unit 4～6 のストーリーを読んで、is と—(e)s の付いた一般動詞を○で囲み、文の主語を確かめることができる。</p> <p>(観察・ワークシート)</p>

Daily Life 3	カフェ	教科書ページ	p.95
		配当時間	1時間
教材の目標	・飲食店で、注文をするやり取りができる。	学習時期	11月
言語材料	基本文 Can I have the breakfast special? Which would you like, bacon or sausage? — I'd like bacon. How much is that in total? 語句 breakfast, special, bacon, toast, sausage, omelet, pancake, side, salad, tea, juice, bottled, water, which, would, or, total, dollar		
言語の使用場面 /働き	使用場面 (イ) 食事 働き (オ) 質問する		

	評価規準	L	R	SI	SP	W
知識・技能	Can I ~?, Which ~ or ~?, How much ~? という言い方について正確に理解している。			○		
	Can I ~?, Which ~ or ~?, How much ~? という言い方を使って、飲食店で注文するやり取りをすることができる。			○		

時	ページ	主な活動内容	観点別評価 (方法)
1	p.95	飲食店で注文するやり取りを演じたり、モデルを参考にして自分たちで考えたやり取りをする。 ◇帯活動 ◆飲食店で注文するやり取りを聞いて内容を理解する。 ◆Which would you like, ~ or ~?という言い方を使って生徒とやり取りをする。 ◆Can I have ~?やHow much ~?という言い方を使って生徒とやり取りをする。 ◆ペアになり、教科書に示されたやり取りを演じる。 ◆Active Words 食べ物や飲み物を表す語彙を確認する。 ◆ペアで、注文するものを変えてオリジナルのやり取りをする。メニューに他の食べ物や飲み物を加えてもよい。	○Can I ~?, Which ~ or ~?, How much ~? という言い方を使って、飲食店で注文するやり取りをすることができる。 (観察・ワークシート)

World Tour 2	世界の時刻	教科書ページ	p.96-97
		配当時間	1時間
教材の目標	・日本と世界の時差について知ることができる。	学習時期	12月
言語材料	基本文 What time is it? 語句 Los Angeles, London, Cape Town, Sydney		

	評価規準	L	R	SI	SP	W
知識・技能	What time is it? という疑問文の使い方を正確に理解している。	○				
	What time is it? を使った会話を聞いて、正確に時刻を聞き取ることができる。	○				
思考・判断・表現	世界の各都市の時刻を確かめるために、会話から各国の時刻を聞き取り、適切に理解している。	●				
主体的に学習に取り組む態度	時差があって便利なこと、不便なことについて考え、外国の文化への理解を深めている。	■				

時	ページ	主な活動内容	観点別評価 (方法)
1	p.94	<p>電話での会話から世界の各都市の時刻を聞き取り、時差を確かめる。</p> <p>◇帯活動</p> <p>◆教科書に出てくる5つの都市の場所を確認する。</p> <p>◆What time is it? を使って生徒とやり取りする。</p> <p>◆世界の友達と電話で話している会話を聞いて、各都市の時刻を聞き取る。</p> <p>◆地図に示された標準時間帯 (タイムゾーン) を参考にして、日本を午後10時としたときの各都市の時刻を確認する。</p> <p>◆シドニーの友達との会話をあらためて聞いて、サマータイムについて理解する。</p> <p>◆時差があって便利なこと、不便なことについて考える。</p>	<p>○What time is it? を使った会話を聞いて、正確に時刻を聞き取ることができる。</p> <p>●世界の各都市の時刻を確かめるために、会話から各国の時刻を聞き取り、適切に理解している。</p> <p>■時差があって便利なこと、不便なことについて考え、外国の文化への理解を深めている。 (観察・ワークシート)</p>

Active Grammar 4	疑問詞	教科書ページ	p.98
		配当時間	1時間
教材の目標	・疑問詞を使ったいろいろな疑問文とその答え方を理解することができる。	学習時期	12月
言語材料	【復習】 疑問詞 (what, who, whose, which, where, when, why, how)		

	評価規準
知識	疑問詞を使った疑問文とその答え方を正確に理解している。
	Unit 4～5 を読んで疑問詞を○で囲み、その答え方を確かめることができる。

時	ページ	主な活動内容	観点別評価 (方法)
1	p.94	<p>疑問詞を使ったいろいろな疑問文とその答え方を理解し、使い方に慣れる。</p> <p>◇帯活動</p> <p>◆2つの会話から疑問詞を使った疑問文の使用場面と意味を理解する。</p> <p>◆疑問詞を使ったいろいろな疑問文とその答え方の形を理解する。</p> <p>◆疑問詞の使い方やその答え方を練習する。</p> <p>◆Grammar Hunt の活動をする。</p>	<p>○Unit 4～5 のストーリーを読んで疑問詞を○で囲み、その答え方を確かめることができる。</p> <p>(観察・ワークシート)</p>

Let's Read 1	What Am I?	題材	クイズ
		教科書ページ	p.99
教材の目標	・説明文から、“I” についての情報を読み取ることができる。	配当時間	1時間
		学習時期	12月
言語材料	語句 fly, underwater, minute, carrot, grass, turn, around 連語 look at ~ turn ~ around		

		評価規準				
		L	R	SI	SP	W
知識・技能	I を主語とした一般動詞や can を使った文の意味を正確に理解している。		○			
	説明文から “I” についての情報を読み取ることができる。		○			
思考・判断・表現	What am I? の答えを知るために、説明文から “I” についての情報を読み取っている。		●			
主体的に学習に取り組む態度	What am I? の答えを知るために、説明文から “I” についての情報を読み取ろうとしている。		■			

時	ページ	主な活動内容	観点別評価 (方法)
1	p.94	説明文から “I” についての情報を読み取り、What am I? の答えを理解する。 ◇帯活動 ◆Before You Read 教科書の絵が表す動物は何かを考える。 ◆What Am I? の文章を読み、答えを考える。 ◆Q & A や T or F で文章の内容を確認する。 ◆After You Read What am I? の答えを確かめる。 ◆What Am I? の文章を音読する。	○説明文から “I” についての情報を読み取ることができる。 ●What am I? の答えを知るために、説明文から “I” についての情報を読み取っている。 ■What am I? の答えを知るために、説明文から “I” についての情報を読み取ろうとしている。 (観察・ワークシート)

You Can Do It! 2	「ドリームファミリー」を紹介しよう	教科書ページ	p.100-101
		配当時間	2時間
教材の目標	<ul style="list-style-type: none"> ・「ドリームファミリー」の紹介から、家族の情報を聞き取ることができる。 ・グループで考えた「ドリームファミリー」を紹介することができる。 	学習時期	12月
言語材料	語句 famous		
言語の使用場面／働き	使用場面 (ア) 学校の学習や活動 働き (ウ) 説明する		

	評価規準	L	R	SI	SP	W
		知識・技能	「ドリームファミリー」の紹介から、その人物の名前、家族関係、性格、できることなどの情報を正確に聞き取ることができる。 人物の家族関係、性格、できることなどを、簡単な語句や文を用いて正確に話すことができる。	○		
思考・判断・表現	「ドリームファミリー」のキャスティングを考えるために、決定済みの家族の紹介から、名前や選ばれた理由などを聞き取り、適切に理解している。 CMに採用されるために、グループで考えた「ドリームファミリー」を適切な表現を使って紹介している。	●			●	
主体的に学習に取り組む態度	「ドリームファミリー」のキャスティングを考えるために、決定済みの家族の紹介から、名前や選ばれた理由などを聞き取ろうとしている。 グループの企画のよさが友達に伝わるように紹介しようとしている。	■			■	

時	ページ	主な活動内容	観点別評価 (方法)
1	p.100-101	決定済みの「ドリームファミリー」の紹介を聞いて名前や選ばれた理由などを聞き取り、残りの家族をグループで考える。 Listening ◆どんな人物が「ドリームファミリー」にふさわしいかを考えて、紹介の内容を予想する。 ◆「ドリームファミリー」の紹介を聞いて、家族構成図の空欄に名前を書く。 ◆もう一度紹介を聞いて、その人物が選ばれた理由などを聞き取る。 Thinking ◆グループになって、残りの家族構成を考える。 ◆家族構成が決まったら、どのように紹介するかを考える。	○「ドリームファミリー」の紹介から、その人物の名前、家族関係、性格、できることなどの情報を正確に聞き取ることができる。 ●決定済みの家族の紹介から、名前や選ばれた理由などを聞き取り、適切に理解している。 ■決定済みの家族の紹介から、名前や選ばれた理由などを聞き取ろうとしている。 (観察・ワークシート)
2	p.101	グループごとに「ドリームファミリー」を紹介し、CMに採用する「ドリームファミリー」をクラスで決定する。 Speaking ◆紹介のためのメモやボードを用意する。 ◆各グループ内でリハーサルをする。 ◆グループごとに「ドリームファミリー」を紹介する。 ◆どのグループの「ドリームファミリー」をCMに採用するか、クラスで話し合い、決定する。 ◆活動をふり返って自己評価をする。	○人物の家族関係、性格、できることなどを、簡単な語句や文を用いて正確に話すことができる。 ●グループで考えた「ドリームファミリー」を適切な表現で紹介している。 ■グループの企画のよさが友達に伝わるように紹介しようとしている。 (観察・ワークシート)

Unit 7	New Year Holidays in Japan	題材	年末年始
		教科書ページ	p.104-115
単元目標	<ul style="list-style-type: none"> はがきから、出来事や感想などを読み取ることができる。 冬休みの出来事や感想などを伝える、はがきを書くことができる。 	配当時間	10 時間
		学習時期	1 月
言語材料	<p>基本文 Part 1 I went to a temple on New Year's Eve. I watched TV with my family.</p> <p>Part 2 Did you eat any traditional food? —Yes, I did. / No, I didn't. I didn't eat any traditional food.</p> <p>Part 4 It was fun. The traditional buildings were beautiful.</p> <p>語句 New Year, holiday, did, ate, kite, made, saw, sunrise, calligraphy, went, temple, luck, charm, buy, bought, eve, New Year's Eve, ring, rang, bell, TV, bake, Mt., sweater, wrote, card, relax, had, party, got, present, any, traditional, custom, long, sign, life, tell, told, know, way, bad, poor, late, comedy, show, New Year's Day, rice, rice cake, lantern, wish, secret, chat, still, fever, hear, lucky, miss, soon, hope, was, building, were, atmosphere, love, amazing, delicious, exciting, yesterday, cookie, postcard, snow, deer, wood, took, lesson, forward, best, regard, care, sincerely</p> <p>連語 by the way stay up have a fever get well look forward to ~</p> <p>表現 Happy New Year. I didn't know that. That's too bad. Poor ~. Sorry to hear that. Lucky you. Get well soon. I hope ~.</p>		
言語の使用場面 / 働き	<p>使用場面 (ア) 地域の行事 (イ) 手紙や電子メールのやり取り</p> <p>働き (ア) 聞き直す (イ) 褒める (ウ) 説明する (エ) 意見を言う (オ) 質問する</p>		

観点	評価規準	L	R	SI	SP	W
知識・技能	一般動詞の過去形を使った肯定文、疑問文、否定文や be 動詞の過去形について正確に理解している。	○	○	○		○
	一般動詞や be 動詞の過去形を使った話や会話から、したことや感想を正確に聞き取ることができる。	○				
	一般動詞や be 動詞の過去形を使った英文を読んで、内容を正しく理解したり、正しく音読したりすることができる。		○			
	一般動詞や be 動詞の過去形を使って、したことや感想を正確に伝え合うことができる。			○		
	一般動詞や be 動詞の過去形を使って、したことや感想を正確に書くことができる。					○
思考・判断・表現	登場人物が冬休みにしたことを知るために、はがきから出来事や感想などを読み取るとともに、はがきの書き方を理解している。		▲			
	ALT に冬休みの出来事を伝えるために、冬休みにしたことや感想をはがきに書いている。					▲
主体的に学習に取り組む態度	登場人物が冬休みにしたことを知るために、はがきから出来事や感想を読み取るとともに、はがきの書き方を理解しようとしている。		■			
	冬休みの出来事の楽しさが伝わるように、出来事や感想をはがきに書こうとしている。					■

時	ページ	主な活動内容	観点別評価 (方法)
1	p.104-105	<p>ストーリーの話題を予測し、おおまかな内容をつかむ。</p> <p>◇帯活動</p> <p>◆写真を見て冬休みに自分がしたことを思い出し、ストーリーの話題を予測する。</p> <p>◆ストーリーを通して聞いて、おおまかな内容をつかむ。</p>	<p>○ストーリーを聞いて、おおまかな内容を捉えることができる。(観察・ワークシート)</p>

時	ページ	主な活動内容	観点別評価 (方法)
2	p. 106	本文の内容を捉え、文脈の中で新出文法事項の意味・形・使い方を理解する。 ◇帯活動 ◆p. 106 の本文の内容を捉える。 ◆一般動詞の過去形の意味と使い方を理解する。 ◆p. 106 の本文を音読する。	○p. 106 の本文を読んで内容を理解したり、音読したりすることができる。 (観察・ワークシート)
3	p. 107	一般動詞の過去形を使った話を聞いたり、一般動詞の過去形を使って話したり書いたりする。 ◇帯活動 ◆Listen 冬休みにしたことを聞いて、内容を理解する。 ◆Speak ペアになり、冬休みにしたことを伝え合う。 ◆Write 自分が冬休みにしたことを書く。	○一般動詞の過去形を使った話から、冬休みにしたことを聞き取ることができる。 ○一般動詞の過去形を使って、冬休みにしたことを伝え合うことができる。 ○冬休みにしたことを書くことができる。 (観察・ワークシート)
4	p. 108	本文の内容を捉え、文脈の中で新出文法事項の意味・形・使い方を理解する。 ◇帯活動 ◆p. 108 の本文の内容を捉える。 ◆一般動詞の過去形の疑問文・否定文の形を理解する。 ◆p. 108 の本文を音読する。	○p. 108 の本文を読んで内容を理解したり、音読したりすることができる。 (観察・ワークシート)
5	p. 109	一般動詞の過去形の疑問文や否定文を使った話を聞いたり、それを使って話したり書いたりする。 ◇帯活動 ◆Listen 登場人物の会話からしたことを聞き取る。 ◆Speak 年末年始にしたことを友達にインタビューする。 ◆Write Yes と答えた人が多かった質問を書く。	○過去形の疑問文を使った会話から、それぞれの方がしたことを聞き取ることができる。 ○過去形の疑問文を使って、年末年始にしたことをたずね合うことができる。 ○自分がした質問を書くことができる。 (観察・ワークシート)
6	p.110-111	本文の内容を捉えて音読する。 ◇帯活動 ◆p.110-111 の本文の内容を捉える。 ◆p.110-111 の本文を音読する。	○p.110-111 の本文を読んで内容を理解したり、音読したりすることができる。 (観察・ワークシート)
7	p. 112	本文の内容を捉え、文脈の中で新出文法事項の意味・形・使い方を理解する。 ◇帯活動 ◆p.112 の本文の内容を捉える。 ◆be 動詞の過去形の形を理解する。 ◆p.112 の本文を音読する。	○p. 112 の本文を読んで内容を理解したり、音読したりすることができる。 (観察・ワークシート)
8	p. 113	be 動詞の過去形を使った会話を聞いたり、be 動詞の過去形を使って話したり書いたりする。 ◇帯活動 ◆Listen インタビューを聞いて、したことと感想を聞き取る。 ◆Speak ペアになり、昨日したこととその感想を伝え合う。 ◆Write 昨日したことと感想を書く。	○be 動詞の過去形を使った会話から、したことと感想を聞き取ることができる。 ○be 動詞の過去形を使って、昨日したこととその感想を伝え合うことができる。 ○自分が昨日したことと感想を書くことができる。 (ワークシート)
9	p. 114	Goal 冬休みの楽しい出来事を伝えよう 登場人物のはがきから出来事と感想を読み取る。 ◇帯活動 ◆Read はがきを読んで登場人物がしたことと感想を捉える。 ◆はがきの書き方を理解する。	▲はがきから出来事や感想を読み取るとともに、はがきの書き方を理解している。 ■はがきから出来事や感想を読み取るとともに、はがきの書き方を理解しようとしている。(ワークシート)
10	p. 115	ALT に宛てて、冬休みの出来事を伝えるはがきを書く。 ◇帯活動 ◆Write ALT に宛てて、冬休みをしたことと感想をはがきに書く。 ◆はがきを読み合って、いちばん楽しそうな冬休みを選ぶ。 ◆活動をふり返り、自己評価をする。	▲ALT に伝えるために、冬休みにしたことと感想をはがきに書いている。 ■冬休みの出来事の楽しさが伝わるように、出来事や感想をはがきに書こうとしている。 (観察・ワークシート)

Active Grammar 5	動詞の過去形	教科書ページ	p.116
		配当時間	1時間
教材の目標	・一般動詞と be 動詞の過去形について理解することができる。	学習時期	2月
言語材料	【復習】 一般動詞の過去形 be 動詞の過去形		

	評価規準
知識	一般動詞人称と be 動詞の過去形の使い方, 意味, 形を正確に理解している。
	Unit7 のストーリー を読んで動詞の過去形を○で囲み, その動詞の原形を確かめることができる。

時	ページ	主な活動内容	観点別評価 (方法)
1	p.116	<p>一般動詞と be 動詞の過去形について理解し, 使い方に慣れる。</p> <p>◇帯活動</p> <p>◆Tina のはがきの文から, 一般動詞と be 動詞の使用場面と意味を理解する。</p> <p>◆一般動詞の過去形の肯定文・疑問文・否定文の形を理解する。</p> <p>◆一般動詞の過去形の使い方を練習する。</p> <p>◆be 動詞の過去形の肯定文・疑問文・否定文の形を理解する。</p> <p>◆be 動詞の過去形の使い方を練習する。</p> <p>◆Grammar Hunt の活動をする。</p> <p>◆Unit3 のストーリーの絵を見て, 出来事や状態などを説明する。</p>	<p>○Unit 7 のストーリーを読んで動詞の過去形を○で囲み, その動詞の原形を確かめることができる。</p> <p>(観察・ワークシート)</p>

Daily Life 4	ウェブサイト	教科書ページ	p.117
		配当時間	1時間
教材の目標	・ウェブサイトから、必要な情報を読み取ることができる。	学習時期	2月
言語材料	語句 surprise, photo, tie, message, each, number, age, letter, chocolate, item, colorful, decoration, successful, everything, yourself, help		
言語の使用場面/ 働き	働き (ウ) 説明する		

		評価規準				
		L	R	SI	SP	W
知識・技能	見出しや写真を参考にして、ウェブサイトから必要な情報を読み取ることができる。		○			

時	ページ	主な活動内容	観点別評価 (方法)
1	p.117	<p>見出しや写真を参考にして、ウェブサイトから必要な情報を読み取る。</p> <p>◇帯活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆さまざまな情報の中から必要な情報を探すにはどのように読むとよいか話し合う。 ◆ウェブサイトの記事にどんな見出しがあるかをつかむ。 ◆Balloons with Photos に必要な素材が書いてある箇所に線を引き、内容を確認する。 ◆パーティーを成功させるコツが書いてある箇所に線を引き、内容を確認する。 ◆Q & Aなどで内容理解を確認する。 ◆必要な情報を探すときは見出しに注目することを確認する。 	<p>○見出しや写真を参考にして、ウェブサイトから必要な情報を読み取ることができる。</p> <p>(観察・ワークシート)</p>

Unit 8	Getting Ready for the Party		題材	誕生日会
			教科書ページ	p.118-127
単元目標	・写真の説明から、その場の状況を聞き取ることができる。 ・写真に、状況を説明するキャプションを書くことができる。		配当時間	9時間
			学習時期	2月
言語材料	基本文 Part 1 I'm baking a cake now. Part 2 Are you baking a cake? —Yes, I am. / No, I'm not. What are you doing? — We are decorating the cake now. Part 3 It looks wonderful. Kota looks funny. 語句 ready, choose, line, album, kitchen, now, o'clock, right, ice cream, window, wear, far, decorate, pretty, wow, inside, think, wonderful, shirt, cup, glasses 連語 get ready in line That's right. out of ~ put up ~ 表現 How's everything? And you? See you later. So far, so good. We're home. Surprise! I had no idea. Happy birthday. What do you think?			
言語の使用場面／働き	使用場面 (ア) 家庭での生活 (イ) 電話での対応 働き (ア) 相づちを打つ (イ) 礼を言う (ウ) 説明する (エ) 意見を言う (オ) 質問する			

		評価規準				
		L	R	SI	SP	W
知識・技能	現在進行形の肯定文、疑問文と look＋形容詞について正確に理解している。	○	○	○		○
	現在進行形の肯定文、疑問文や look＋形容詞を使った会話から、人がしていることや感想などを正確に聞き取ることができる。	○				
	現在進行形の肯定文、疑問文や look＋形容詞を使った英文を読んで、内容を正しく理解したり、正しく音読したりすることができる。		○			
	現在進行形の肯定文、疑問文を使って人がしていることを正確に伝え合ったり、look＋形容詞を使って品物の印象を正確に伝え合ったりすることができる。			○		
	現在進行形の肯定文を使って人がしていることを正確に書いたり、look＋形容詞を使って品物の印象を正確に書いたりすることができる。					○
思考・判断・表現	どの写真を説明しているかを知るために、写真の説明からその場の状況を聞き取り、適切に理解している。	●				
	自分が選んだ写真について伝えるために、その場の状況を説明する写真のキャプションを適切な表現を使って書いている。					●
主体的に学習に取り組む態度	どの写真を説明しているかを知るために、写真の説明からその場の状況を聞き取ろうとしている。	■				
	自分が選んだ写真について伝えるために、その場の状況を説明する写真のキャプションを適切な表現で書こうとしている。					■

時	ページ	主な活動内容	観点別評価 (方法)
1	p.118-119	ストーリー的话题を予測し、おおまかな内容をつかむ。 ◇帯活動 ◆絵を見て、友達の誕生日パーティーでしたいことを考え、ストーリー的话题を予測する。 ◆ストーリーを通して聞いて、おおまかな内容をつかむ。	
2	p.120	本文の内容を捉え、文脈の中で新出文法事項の意味・形・使い方を理解する。 ◇帯活動 ◆p.120の本文を読んで、内容を理解する。 ◆現在進行形の肯定文の意味と形と使い方を理解する。 ◆p.120の本文を音読する。	○p.120の本文を読んで内容を理解したり、音読したりすることができる。 (観察・ワークシート)

時	ページ	主な活動内容	観点別評価 (方法)
3	p.121	現在進行形の肯定文を使った会話を聞いたり、現在進行形の肯定文を使って話したり書いたりする。 ◇帯活動 ◆Listen 写真についての会話を聞いて、写真の人物がしていることを聞き取る。 ◆Speak ペアになり、1人が写真を選んで説明し、もう1人がどの写真かを当てるやり取りをする。 ◆Write 自分が選んだ写真の説明を書く。	○現在進行形の肯定文を使った会話から、人がしていることを聞き取ることができる。 ○現在進行形の肯定文を使って、写真の人がしていることを説明することができる。 ○現在進行形の肯定文を使って、写真の説明を書くことができる。 (観察・ワークシート)
4	p.122	本文の内容を捉え、文脈の中で新出文法事項の意味・形・使い方を理解する。 ◇帯活動 ◆p.122の本文を読んで、内容を理解する。 ◆現在進行形の疑問文の意味と形と使い方を理解する。 ◆p.122の本文を音読する。	○p.122の本文を読んで内容を理解したり、音読したりすることができる。 (観察・ワークシート)
5	p.123	現在進行形の疑問文を使った会話を聞いたり、現在進行形を使って話したり書いたりする。 ◇帯活動 ◆Listen 電話での会話を聞いて、それぞれの人がしていることを聞き取る。 ◆Speak ペアになり、1人が教科書の絵の中の人物の動作を真似、もう1人が何をしているかたずねるやり取りをする。 ◆Write 真似した人物がしていることを書く。	○現在進行形の疑問文を使った会話から、人がしていることを聞き取ることができる。 ○現在進行形の疑問文を使って、人がしていることをたずね合うことができる。 ○現在進行形を使って、人がしていることを書くことができる。 (観察・ワークシート)
6	p.124	本文の内容を捉え、文脈の中で新出文法事項の意味・形・使い方を理解する。 ◇帯活動 ◆p.124の本文を読んで、内容を理解する。 ◆look+形容詞の意味と形と使い方を理解する。 ◆p.124の本文を音読する。	○p.124の本文を読んで内容を理解したり、音読したりすることができる。 (観察・ワークシート)
7	p.125	look+形容詞を使った会話を聞いたり、look+形容詞を使って話したり書いたりする。 ◇帯活動 ◆Listen パーティーについての会話を聞いて、プレゼントの品物などについての感想を聞き取る。 ◆Speak パーティーを盛り上げるために欲しいものについて、その品物と印象などを伝え合う。 ◆Write 自分が欲しい品物と印象を書く。	○look+形容詞を使った会話から、品物などの感想を聞き取ることができる。 ○look+形容詞を使って、自分が欲しい品物の印象を伝え合うことができる。 ○look+形容詞を使って、自分が欲しい品物の印象を書くことができる。 (観察・ワークシート)
8	p.126-127	Goal アルバムの最後のページを作ろう パーティーの写真の説明から、その場の状況を聞き取り、ふさわしい人物の絵を選ぶ。 ◇帯活動 ◆Listen 教科書のA~Lの絵の状況を確認する。 ◆写真の説明を聞いて、A~Lからふさわしい人物の絵を選ぶ。 ◆Write アルバムの最後のページに載せる写真を考える。	●どの写真を説明しているかを知るために、写真の説明から、その場の状況を聞き取り、適切に理解している。 ■写真の説明から、その場の状況を聞き取るようとしている。 (ワークシート)
9	p.127	最後のページに載せたい写真のキャプションを書き、グループでその中からふさわしい写真を選ぶ。 ◇帯活動 ◆Write 自分が考えた写真のキャプションを書く。 ◆それぞれが考えた写真とキャプションをグループの中で見せ合い、いちばんふさわしい写真を選ぶ。 ◆活動を振り返って自己評価をする。	●自分が考えた写真について伝えるために、その場の状況を説明する写真のキャプションを、適切な表現で書いている。 ■写真のキャプションを適切な表現で書くようとしている。 (ワークシート)

Active Grammar 6	現在進行形	教科書ページ	p.128
		配当時間	1時間
教材の目標	・現在進行形について理解することができる。	学習時期	2月
言語材料	【復習】 現在進行形		

	評価規準
知識	現在進行形の使い方、意味、形、現在形との使い方の違いについて正確に理解している。
	Unit 8 のストーリーを読んで現在進行形の文に○印を付け、それぞれの文が表している状況を確認することができる。

時	ページ	主な活動内容	観点別評価 (方法)
1	p.128	<p>現在進行形について理解し、使い方に慣れる。</p> <p>◇帯活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆電話での会話から、現在進行形の使用場面と意味を理解する。 ◆現在進行形の肯定文、疑問文、否定文の形を理解する。 ◆現在進行形と現在形を比べて、違いを考える。 ◆現在進行形の使い方の練習をする。 ◆Grammar Hunt の活動をする。 ◆Unit4, 5 のストーリーの絵を見て、人物のしていることを説明する。 	<p>○Unit8 のストーリーを読んで現在進行形の文に○印を付け、その文が表す状況を確認することができる。(観察・ワークシート)</p>

Daily Life 5	ラジオの中継	教科書ページ	p.129
		配当時間	1時間
教材の目標	・ラジオの中継から、現地の様子を聞き取ることができる。	学習時期	2月
言語材料	語句 warm, hiking, picnic, pie, candy		
言語の使用場面/ 働き	働き (ウ) 報告する		

	評価規準	L	R	SI	SP	W
知識・技能	ラジオの中継を聞いて、どこから何をレポートしているか聞き取ることができる。	○				

時	ページ	主な活動内容	観点別評価 (方法)
1	p.129	<p>ラジオの中継から現地の様子を聞き取る。</p> <p>◇帯活動</p> <p>◆1の中継を聞いて、中継している場所、気温、中継する対象を聞き取る。</p> <p>◆2の中継を聞いて、リポーターが屋台で食べたものを聞き取る。</p> <p>◆3の中継を聞いて、レポートの内容と合う状況の写真を選ぶ。</p> <p>◆1～3の中継を通して聞いて、理解したことを確認する。</p>	<p>○ラジオの中継を聞いて、どこから何をレポートしているか聞き取ることができる。</p> <p>(観察・ワークシート)</p>

Let's Read 2	The Lion and the Mouse	題材	イソップ物語
		教科書ページ	p.130-131
教材の単元	・物語から、あらすじを読み取ることができる。	配当時間	2時間
		学習時期	3月
言語材料	語句 lion, mouse, back, catch, caught, someday, jungle, promise, may, hunter, net, roar, heard, cry, chew, away, keep, kept, small, true 連語 one day climb up chew on ~ get away keep one's promise		

	評価規準	L	R	SI	SP	W
知識・技能	一般動詞の過去形やlook+形容詞について正確に理解している。		○			
	物語を読んで内容を理解したり、音読したりすることができる。		○			
思考・判断・表現	物語を楽しむために、時を表す語や誰が何をしたかに注目して読み、あらすじをつかんでいる。		●			
主体的に学習に取り組む態度	物語を楽しむために、時を表す語や誰が何をしたかに注目して読み、あらすじをつかもうとしている。		■			
	読み取ったことをもとに、登場人物の気持ちについて積極的に考えたり、発言したりしている。					

時	ページ	主な活動内容	観点別評価(方法)
1	p.130-131	キーワードから物語の内容を予想し、物語を読んであらすじをつかんだ後、物語の詳細を読み取る。 ◇帯活動 ◆Before You Read イソップ物語に興味をもち、4つのキーワードから物語の内容を予想する。 ◆物語を通して読んだ後、絵を並べ替えてあらすじを確かめる。 ◆Q&Aで物語の内容を確かめる。 ◆本文を通して聞き、音読の練習をする。	■時を表す語や誰が何をしたかに注目して読み、あらすじをつかもうとしている。 ○物語を読んで内容を理解することができる。 (観察・ワークシート)
2	p.130-131	登場人物の気持ちを考え、物語を音読する。 ◇帯活動 ◆After You Read 物語の内容に合うように4つの文の順序を考える。 ◆After You Read 読み取ったことをもとに、ライオンを助けたネズミの気持ちや、ネズミに助けられたライオンの気持ちについて話し合う。 ◆役割ごとに、登場人物の気持ちや様子が伝わるように、物語を音読する。	●物語のあらすじをつかんでいる。 ■登場人物の気持ちについて積極的に考えたり、発言したりしている。 ○物語の音読をすることができる。 (観察・ワークシート)

You Can Do It! 3	学校行事の紹介ページを作ろう	教科書ページ	p.132-133
		配当時間	2時間
教材の目標	<ul style="list-style-type: none"> 学校紹介のウェブサイトを読んで、自分たちの学校と同じところや違うところを見つけることができる。 グループで学校行事の紹介ページを作ることができる。 	学習時期	3月
言語材料	語句 welcome, middle, field, field trip, different, other, trip, school trip, event, last, fair, topic, poster, elementary, elementary school, talent, stage, song, perform 連語 welcome to ~ last year		
言語の使用場面/ 働き	使用場面 (ア) 学校での学習や活動 働き (ウ) 説明する (オ) 質問する		

	評価規準	L	R	SI	SP	W
知識・技能	学校行事のウェブサイトから、その学校の生徒たちがしたことや毎年することなどを正確に読み取ることができる。		○			
	自分たちの学校行事について、自分たちがしたことやすることなどを、簡単な語句や文を用いて正確に話すことができる。				○	
思考・判断・表現	自分たちの学校と同じところや違うところを見つけるために、学校行事のウェブサイトから情報を読み取っている。		●			
	自分たちの学校のよいところが伝わるように、学校行事を選んでウェブサイトのページを作り、適切に紹介している。				●	
主体的に学習に取り組む態度	積極的にウェブサイトを読んで、自分たちの学校と同じところと違うところを見つけようとしている。		■			
	自分たちの学校のよいところが伝わるように、学校行事を紹介しようとしている。				■	

時	ページ	主な活動内容	観点別評価 (方法)
1	p.132-133	学校行事のウェブサイトから自分たちの学校と同じところや違うところを知り、自分たちのウェブサイトについて考える。 Reading ◆4つの見出しから、それぞれ何を説明しているか理解する。 ◆4つの説明を読み、自分たちの学校と同じだと思うところと違うと思うところに線を引く。 ◆同じだと思うところと違うと思うところについて話し合う。 Thinking ◆グループになって、ウェブサイトで紹介する4つの行事を決める。 ◆行事の説明の仕方についてアイデアを出し合い、紹介ページを作る作業の分担を決める。	○学校行事のウェブサイトから、その学校の生徒たちがしたことや毎年することなどを正確に読み取ることができる。 ●自分たちの学校と同じところや違うところを見つけるために、ウェブサイトの情報を読み取っている。 ■積極的に自分たちの学校と同じところと違うところを見つけようとしている。 (観察・ワークシート)
2	p.133	グループごとに学校行事の紹介ページを作り、発表する Speaking ◆学校行事の紹介ページの案を作り、グループで検討して完成させる。 ◆各グループ内で発表のリハーサルをする。 ◆グループごとに紹介ページを見せながら発表する。 ◆活動をふり返って自己評価をする。	○自分たちの学校行事について、自分たちがしたことやすることなどを、簡単な語句や文を用いて正確に話すことができる。 ●自分たちの学校のよいところが伝わるように、学校行事を選んでウェブサイトのページを作り、紹介している。 ■学校のよいところが伝わるように、学校行事を紹介しようとしている。 (観察・ワークシート)

Let's Read More	My Japanese Lessons	題材	日本語と英語
		教科書ページ	p.151-152
教材の単元	・レポートから、筆者の体験に基づく感想などを読み取ることができる。	配当時間	2時間
		学習時期	3月
言語材料	語句 came, difficult, example, count, confusing, another, learn, phrase, different, meaning, strange, word, clothes, skirt, scarf, glove, easy, and so on 連語 last year for example this way be different from ~		

	評価規準	L	R	SI	SP	W
知識・技能	動詞の現在形の文や過去形の文を理解している。		○			
	レポートを読んで内容を理解することができる。		○			
思考・判断・表現	Tina が日本語について感じていることを知るために、日本語と英語の違いなどについて書かれたレポートの概要や要点を捉えている。		●			
主体的に学習に取り組む態度	Tina が日本語について感じていることを知るために、日本語と英語の違いなどについて書かれたレポートの概要や要点を捉えようとしている。		■			
	日本語と英語の違いについて考え、言語と文化に対する理解を深めている。		■			

時	ページ	主な活動内容	観点別評価 (方法)
1	p.151-152	<p>レポートを読んで概要をつかんだ後、Tina が日本語について感じているのはどんなことかを読み取り、日本語と英語の違いについて考える。</p> <p>◆Tina は日本語についてどんなことを感じていると思うかを考え、自分たちの考えていることを話し合う。</p> <p>◆レポートを通して読み、概要を捉える。</p> <p>◆T or F や Q&A でレポートの内容を確認する。</p> <p>◆読み取った内容から日本語と英語のちがいについて考える。</p>	<p>■Tina が日本語について感じていることを知るために、日本語と英語の違いなどについて書かれたレポートの概要や要点を捉えようとしている。</p> <p>○レポートを読んで内容を理解することができる。(観察・ワークシート)</p>
2	p.152	<p>レポートの要点を確かめ、日本語と英語の違いについて感想や意見を伝え合う。</p> <p>◆Tina が日本語について感じていることを述べた文を確かめながら、Tina の考えを整理する。</p> <p>◆Tina が挙げている日本語の例を箇条書きにする。</p> <p>◆レポートの組み立てを確認し、要点を理解する。</p> <p>◆日本語と英語の違いについて、他の例を挙げて考える。</p> <p>◆英語や英語学習についての感想や意見を話し合う。</p>	<p>●日本語と英語の違いなどについて書かれたレポートの概要や要点を捉えている。</p> <p>■日本語と英語の違いについて考え、言語と文化に対する理解を深めている。(観察・ワークシート)</p>